

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 西松建設株式会社（証券コード: 1820）

### 【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A

### ■格付事由

- 1874年創業の準大手ゼネコン。140年を超える業歴があり、道路、ダムなどの公共工事やマンション、事務所・庁舎、店舗などの民間工事の実績が豊富である。長期ビジョンで掲げる「総合力企業」への変革期と中期経営計画2023（22/3期～24/3期）を位置づけ、各事業の有機的な連携によるビジネスモデルの変化を目指している。21年9月22日から自己株式の公開買付（取得価格の総額：543億円、取得株式総数：15百万株、発行済株式総数に対する割合26.98%）を開始し、10月20日に成立した。
- 公開買付の成立に伴う自己株式取得により、自己資本が大きく減少している。一方、中期的に国土強靱化計画の推進などを背景に公共工事を中心に底堅い利益が見込まれ、自己資本が緩やかに復元していくと想定される。さらに、保有不動産の含み益もあり、実質的な財務体力は相応に認められることから、格付を据え置き、見通しは安定的とした。ただし、従来と比べて現状の格付に対する余裕度は低下しており、今後は中期的な利益蓄積の蓋然性、株主還元などの資本政策、成長投資の進め方などを注視していく。
- 22/3期の営業利益は210億円（前期比0.2%増）の計画である。手持工事が概ね順調に進行しており、前期並みの利益が予想される。国内の民間建築工事を中心に競争が厳しくなっているが、手持工事の水準は高い。さらに、国土強靱化の推進やインフラの老朽化対策などにより公共工事の安定した受注獲得も見込まれる。当面、利益は底堅く推移するとみられる。
- 22/3期第2四半期末の自己資本は2,080億円、自己資本比率は43.2%となっていた。その後、公開買付により自己株式の取得を行ったことで、自己資本は約1,500億円となり自己資本比率は10ポイント程度低下しているとみられる。JCRでは、足元をボトムに自己資本および自己資本比率などが改善していくと想定しており、今後の進捗を確認していく。

（担当）窪田 幹也・下田 泰弘

### ■格付対象

発行体：西松建設株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第7回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年7月24日	2022年7月22日	0.81%	A

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年11月16日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「総合建設」（2012年3月26日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 西松建設株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル